

■第12回あきたスマートシティ協議会 議事録

日時	平成26年9月29日(月) 15:30~17:00	
場所	秋田市環境部大会議場	
参加者 (敬称略)	推進 委員	特定非営利活動法人科学協力学際センター川添理事長(委員長) 秋田大学教育文化学部地域科学課程 西川准教授(副委員長) 秋田県立大学システム科学技術学部建築環境システム学科 板垣准教授 東北電力株式会社秋田営業所 杉田専門役 東部ガス株式会社秋田支社 保坂副支店長 秋田商工会議所 柴田専務理事(代理:浅野部長) 秋田県産業労働部資源エネルギー産業課 赤川課長(代理:加賀谷主査) 秋田県生活環境部温暖化対策課 高橋課長 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 小長井マネージャー 日本アイ・ビー・エム株式会社 Smarter City 推進 加茂部長 ジョンソンコントロールズインク(米国本社) 三田村ディレクター(代理:割田グループ長) アイ・エム・サービス株式会社 大山統括部長 秋田市環境部 古里部長 計13名(順不同)
	事務局	秋田市環境部、株式会社日本総合研究所
配布資料	資料1	あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会 委員名簿
	資料2	情報統合管理基盤 WG 報告資料
	資料3	ESCO・LEED WG 報告資料
	資料4	LEEDS大学講演 報告資料
	資料5	低炭素モビリティWG 報告資料
	資料6	地産エネルギー事業 報告資料
	資料7	ライフスタイルイノベーションWG 報告資料
	資料8	次世代エネルギーパーク事業 報告資料
	資料9	平成27年度における事業のとりまとめ
	資料10	第11回推進協議会議事録

1 ワーキンググループ活動報告

各 WG より活動報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

(1) 情報統合管理基盤ワーキンググループ

委員 電気使用量は減っているが、電気料金の値上げで使用料金は上がっているということか。

委員 そのとおり。東日本大震災の影響で電気料金が値上げされた。

委員 成果は出ていることを伝えるような表現を努力する必要がある。

(2) 地域ESCO ワーキンググループ

委員 電気料金の値上げで、コスト削減は3%にとどまっているが、値上げ分は誰が負担することになっているのか。

委員 ESCO 契約で保証しているのはエネルギー削減量であるため、目標の削減量を達成すれば所定のフィーは支払われることになっている。昨年度とのコスト比較ではなく、省エネ改修を行わなかった場合との比較である。

(3) リーズ大学公園報告

委員 秋田市の取組みをPRするのはよいことである。情報統合管理基盤について、初期投資額が高いなどの指摘はなかったか。

秋田市 ランニングでカバーすることとしている。

2 来年度活動方針

各ワーキンググループより来年度の活動方針の報告後討議を行った。主な議論は以下の通り。

(1) 低炭素モビリティワーキンググループ

委員 自転車通勤の平均時間は40分くらいであるが、やや遠い(長い)気がする。

秋田市 長距離の人が混ざっているため全体平均はそのくらいの時間となった。ただし、朝は道路が渋滞するので自動車通勤ではそれ以上かかる場合がある。

委員 中心市街地の活性化にはどのようなアイデアがあるか。

秋田市 自転車通勤帰りの「ついで」に店に立ち寄るような行動が起こればよいと考えている。

(2) 地産エネルギーワーキンググループ

委員 ペレットストーブの普及を妨げているのは価格。ペレットストーブのデモを見ていいと感じたが、価格が数十万と聞いて買う気が起こらなかった。補助金を出すのであれば、安いものを作るような方向に向かうようにすべきである。

委員 家庭用のペレットストーブ普及は厳しい。市街地では煙突を出すことが難しく、高气密の部屋の場合換気の問題もある。郊外の老人福祉施設などに導入するなどが現実的。

委員 ペレットストーブに対しては、国や県が共同で補助を行っているが、インシヤルコストが高く普及がなかなか難しい。メガソーラーの利益などを再エネ導入促進に利用することも検討している。

委員 再エネ全量買取制度は、導入可能容量があり、秋田市内でもだんだん厳しくなっている。また、風力発電については、騒音や鳥の衝突など環境への影響があり建設が難しい。

(3) ライフスタイルイノベーションワーキンググループ

委員 シェアキッチンなどに類似した店舗は東京に多いのか。

委員 何人かが集まって自分たちで作った料理を食べるという形態が受けている。

委員 場所はどこかを想定しているのか。

秋田市 具体的にはこれから探すが、市民市場などが利用できないかと考えている。
また、家族連れや若者などを外に出す仕組みができないかと考えている。

3 あきたスマートシティ・プロジェクト事業取りまとめについて

委員 再来年度は国の補助金が秋田市に来るように体制を組む必要がある。エネルギーでお金を稼いでさらなる普及につなげるような取組みが必要。

4 次回協議会日程

次回は3月を予定